



中村 安雄 議員

### 公民館移設そして中心街に防災拠点を!!

水害に遭わない多目的施設の早期建設を

議員

市民の広場は、長谷川市長の時代に土地を買収し、5億8000万円という予算で建物を建てるという計画をしていたが、選挙戦の争点となり反対の立場の高杉市長が当選をした。今回の水害では庁舎が水没し、災害対策本部が機能しなかった。今後後そういうことがあったら、もう取り返しはつかない。市民の広場のあたりは庁舎よりも1メートル数十センチ高く、今回の水害でも浸水していない。市民の広場に当初計画の通り建物が建っていたら、今回は災害本部を移動することは簡単にできたはずである。また、カスミ諏訪町店が撤退したことで約4600㎡の土地が空き地になっており、市民の広場とあわせれば9000㎡という大きな面積になり、駐車場も300台くらいは入るだろう。

市長

水海道公民館の建てかえに当たって、カスミ跡地に移そうということ、現在もカスミと話し

市民の広場



カスミ跡地



議員

し合いを進めている。また、カスミが水海道公民館の跡地を欲しいと言っており、土地の交換を含め、副市長が窓口となって交渉を進めている。せっかく多目的施設を建てるのであれば、新たな防災拠点という位置づけも含めた施設として進めていきたいと考えている。

区長会長からも市長へ建物の要望が出されているし、建物ができれば管理は地元としても協力すると言われている。みんなの力が一つになって総合的な建物ができて、地元のにぎわいを取り戻し、市民の憩いの場になることが一番望ましい。副市長もつと気合を入れて前進してください。

■ 図 表 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI ■ 図 表

### 物事に絶対はない 想定外では済まされない



豪雨災害について



最大浸水深図

※関東地方整備局HPを加工して作成

議員

国交省シミュレーションに基づく鬼怒川氾濫の情報は、当日早朝に届いていたのに、なぜ活かされなかったのか。

市民生活部長

シミュレーションでは、最悪の状況で水海道南部まで水が来るということ、まず当初は石下地区に避難指示・勧告を出した次第である。

議員

物事に絶対はない。想定外では済まされない。鬼怒川東部全地区に出すべきだったと感じている。危機管理監をぜひ設置し

金子 晃久 議員

ていただくよう強く要望する。次に、失われた生命、財産に対して市長としての責任と義務をどう考えているか。

市長

上三坂地区への避難指示が遅れたことは十分反省をしている。責任は大変重く受け止めている。

議員

激甚災害の指定は、農商工分野にはされたが、公共土木分野にはされていない。今後の見通しは。

市民生活部長

地域を指定する局地激甚災害は年度末に指定するので、まだ未定である。

議員

災害救助法、被災者生活再建支援法は被害実態に見合わない。これをどう訴えていくのか。

市長

所得制限をなくし、水害の実態に合った改正と商業業に対する新しい支援制度も強く要望していきたい。

議員

半壊、大規模半壊、全壊といった基準で区切らないでほしい。内閣府「家屋等被災認定基準の運用方針」も平地での水害にあわせた改正をお願いしたい。